

11月2日(金)

## 荒町市民センターで「<sup>みちのく</sup>魅知国絆寄席」を開催しました

落語芸術協会と共催で、地域の方々に本格落語を気軽に楽しんでいただこうと市民センターで展開している「市民センター魅知国絆寄席」は、若林市民センターに次いで2回目の開催となりました。

当日は、平日の午後5時開演という時間帯でしたが、170人近い方々にお楽しみいただきました。仙台弁の落語や本格落語に大笑いし、大神楽ではその鍛練された技に息をのみ、大技が決まる度に喚声が上がりました。

笑いと喝采の渦の中、あっという間に閉演の時間を迎え、最後に行ったお楽しみ抽選会では、出演者のサイン入り色紙が当たりますようにと祈り、はずれるととても落胆している落語好きの男の子がかわいらしく印象的でした。

そんなかわいらしい小学生や会社を早退してまで駆けつけてくれた女性、地域の多く皆様と一緒に1時間半笑い続け、寒空だったにも関わらず、笑いで心も体も温まった夜でした。

